

2025.8.18 (木)
第 8 回例会
(通算3817回)

2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛
副 会 長 池田 一己
幹 事 横田 英喜
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度
国際ロータリーテーマ

『よいことのために 手を取りあおう』
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度
RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ
第 2500 地区ガバナー
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム 「クラブの未来に向けて・ガバナーの担いとは」(理事会)

次週例会 「情報集会報告会」(クラブ研修委員会)

- ロータリーソング：我らの生業 ■ソングリーダー：堀 充利君
- 会員数 108 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間 荒井 剛会長



皆お食事の方は、そのまま食べてください。

会長挨拶ではふたつあります。ひとつは、机の上に前年度のガバナー

月信の最終号が配布されていると思います。この中の 47 ページ、グローバル補助金チームリーダーとして一年間の活動報告を載せさせていただきました。そこで、今年の 5 月に釧路ロータリークラブがタイのプロイラーチャブリーロータリークラブと合同で行ったグローバル補助金の活動も載っていますので、よろしければご覧ください。

もうひとつ、今日は簡単な短い話になるのですが、ロータリーソングについて簡単に触れたいと思います。

1905 年にシカゴロータリークラブが創立されて、ロータリークラブではいつからロータリーソングが歌われるようになったのかというと、一年後の 1906 年です。元々 4 人のメンバーでしたが、5 人目のロータリアンになるハリー・ラグルスさんが、中でいろいろもめそうになったときに「歌でも歌おうか」と言って歌い始めたのがきっかけで、それ以来世界で、日本でロータリーソングが広まったとなっております。

どんな歌が歌われていたのかを調べてみました。『Let Me Call You Sweetheart』という曲があります。

これを皆さんに聴いていただきます。1 分くらいですが 100 年以上前の時代に浸っていただければと思って、今日の会長挨拶を終わらせていただきます。

(『Let Me Call You Sweetheart』の鑑賞)

ありがとうございました。
ロータリーソングについては別の機会にお話したいと思います。以上です。

幹事報告 横田 英喜幹事

昨年度の高橋年度で釧路新聞社の星社長に講演をいただいた際に、「東釧路駅の駐輪場の治安維持と防犯・盗難防止について課題がある」という話を受けて、昨年度の高橋年度理事会で「釧路クラブとして東釧路駅の防犯カメラと LED 照明の設置について」の承認をいただいております。その設置工事が 8 月 6 日に、JR 北海道、釧路市、釧路警察署の協力を得て設置を終えました。このことを報告します。
目録については、釧路市に後ほど届ける予定となっております。
以上です。

■ 本日のプログラム ■

「クラブの未来に向けて・ガバナーの担いとは」

吉田 潤司 パストガバナー



皆さん、こんにちは。荒井会長からガバナー候補者受諾について素晴らしい決意をいただきました。釧路のクラブの良いところは、クラブの

一大事に対してはみんなで団結して力を発揮するところ。ぜひ 2500 地区のため、また、釧路クラブのために荒井さんをみなさんで盛り立てていただきますようお願いをいたします。今日の話は、荒井さんがガバナー予定者候補者に決まりましたことは置きまして、ガバナーについて少しお話をさせていただきます。ガバナーというのは、R I の一年限りの役員です。世界に 200 カ国に近い国があり、35000 ～ 40000 くらいのクラブがありおよそ 550 くらいのグループに分かれており、この一つのグループを地区と呼び、日本は 34 の地区に分かれております。その地区の代表がガバナーです。

ガバナーの大きな役割というのはたくさんありますが、主たる役割は、第 1 に新クラブを作る。第 2 番目には会員増強をする。3 番目には、クラブの活性化の指導をする。その他に例えば、地区大会を開く、公式訪問をなさいますとか、いろいろありますけども、主たるものはこういうものなのです。

現在では新クラブを作るのはなかなか大変なことかも知れません。この 20 年以上の間 E クラブや衛星クラブ等の新しい形の新クラブは誕生しておりますが、従来型のクラブは誕生しておりません。従来型の新クラブを是非作っていただきたいものです。

年度が終わりますと、ガバナーは一会員になります。ただ、地区の役員としての役割はいくつかあり、諮問委員会委員が一番大きな役割です。各クラブはガバナーの指導のもと国際ロータリー定款及び各クラブ独自の定款細則に従いクラブ運営を行います。諮問委員会はガバナー主導で年間数回開催され地区内の懸案事項について討議します。討議内容については個人の意見を述べてガバナーが最終決定します。

私はガバナーを終わってみると、ガバナーというのはそんなに大変な仕事ではないという気がします。一番大変なのがやはりクラブの会長ではないかと思えます。クラブの会長は通常、毎週例会があり多くの時間を取られます。多くの活動は会長に直結した各活動の為に委員会がありますけど、会長がすべてに気を配らなければなりません。ガバナーは各活動の委員会を作り、大きなイベントにはその都度委員会を作り、ガ

バナー方針を示し、このようなイベントにしたい方針をしめしてしまえば、各委員会が委員長中心に活動をすすめていきます。大変なこと大事なことは、ガバナーの基本方針を立てる事。ガバナーが何をしたいのか、どんな行事にしたいのか、どんな 1 年間にしたいのかを熟慮し、皆に理解してもらい、思いを共有すること。つまりは事前の十分な計画を立て片腕になってもらえる人達との十分なすり合わせが出来ればあとは自然に流れていきます。

ガバナー就任前に 1 週間の研修いわゆる国際協議会があります。ここで綿密なプログラムのもと缶詰教育を受けます。朝 9 時から夕方 6 時まで小グループでの研修ですが実にハードですが素晴らしい研修プログラムだと思いました。夜は一応自由ですが同期ガバナーが 4 ～ 5 人ぐらいで酒を組み交わしながら当日の研修内容について夜遅くまで話し合いますがどれも自然な流れで勉強し交流を深めて行きます。1 週間後にはほぼ完ぺきな知識を持ったガバナーのヒヨコが誕生します。研修開始前は不安いっぱいだったのが良き仲間恵まれ素晴らしい研修を受け沢山の知識を得たと実感し少しずつ自信が出来ます。研修終了後は研修初日とは全く変わった笑顔と自信が出来た顔になり、余裕ができたなと感じました。私もガバナーノミニー研修時に全く別の世界が見られますと言われたのですが確かに別世界を垣間見ました。ひとつには、ロータリーがいかに巨大な組織なのかがよく分かりました。本当にしっかりした巨大な組織だと思いました。また同期ガバナーは全国 34 地区にそれなりの人がいてそれらの人たちとすごく親しくなり生涯の友が沢山出来ました。さてガバナーになると一番大きなことでは拘束するのは公式訪問です。他にも多くの行事がたくさんありますが、基本は全部地元でやりますので、そんなに長い時間とられることはありません。公式訪問では皆さんには本当に随分手伝ってもらいました。私のときで確か 50 泊くらいしました。公式訪問では地方の小さいクラブではガバナーが来るのを楽しみにして大歓迎を受けロータリアンの喜びを肌で感じます。知らない土地に行きロータリーという同じ土俵の中で話し合うことはこの上もない喜びではないでしょうか。ガバナーになって大変なのはやはり公式訪問ですが、最近、いろいろと改善されてきて、ガバナー補佐がクラブ協議会をやるなどガバナーの負担軽減が試みられています。

荒井さんも大変忙しい人です。忙しい人ほど時間を上手に使うと言われています。限られた時間を有効活用し 2500 地区の会員を指導していただければと思います。

次に、釧路クラブのガバナーの歴史にはいろいろあります。この歴史の話は杉村会員が確 80 周年記念例会で話されてますのでその補足をさせていただきます。

釧路クラブ第1号のガバナーは1961年に出た両角克治さんです。両角さんの資料が少ないで一部推測で話す部分がありますが、多少の間違ひはお許し下さい。両角さんがガバナーの時に北クラブが独立しましたが独立時のチャーターメンバーに両角さんが入っているのかわかりません。両角さんがガバナー候補者の指名を受けた時は間違いなく釧路クラブに所属していましたがいつの時点で北クラブに移籍したのかよくわかりません。

次に1965年に嵯峨晃ガバナーが誕生しております。嵯峨晃さんは残念ながらガバナー終了後5年くらいで亡くなりました。次に1978年に釧路トヨタ創立者の柳田一さんがガバナーエレクトの時に病気になりお亡くなりになって、ガバナーにはなれなかったのです。続きまして1981年に清水幸彦ガバナーが誕生しました。その後1986年釧路ガス社長の両角靖二さんがガバナーエレクトの時奥様がご逝去されガバナー就任を辞退しました。1999年釧路クラブ20年ぶりに待望の小船井ガバナーが誕生しました。その後2009年会員医師のH氏がガバナー候補者にノミネートしましたが他分区候補者に敗戦し残念ながらガバナー候補者になれませんでした。一説では他分区パストガバナーの横やりが入ったという説もありましたが詳細はわかりません。2018年に私がガバナー予定者に立候補しましたが選考から漏れ翌年の2019年に改めてガバナー予定者になりましたが、翌年ガバナーノミニーの12月末に家内が大病で危篤になり、その後の検査の結果大変危険な手術をすることになり一度は、ガバナー辞退をせざるを得ないと心の中では決めてりましたがその後無事危機を乗り越えガバナーに就任できました。家内の生命力にただただ脱帽でした。全国的にもガバナー就任まで実に様々なアクシデントがあり断念せざるを得ない事態が意外と多いようで、最近では佐渡ガバナー同期ガバナーが国際協議会に参加し帰国1週間後に急逝したということもありました。

荒井さんはすごい健康体で、細身で、タバコも吸わない、酒も飲まない、真面目に生活をしていますけどぜひ、ガバナーノミニーの時に一度人間ドッグでの検診を奥様共々受けてみてはいかがでしょうか。

ガバナー予定者選出をスムーズに出来ないかと言うことで地区を4分割し全国的に取り上げている地区が多い輪番制を採用しました。①グループ 稚内名寄旭川の1・2・3分区、②グループ 北見網走紋別の4・5分区、③グループ 帯広の6分区、そして④グループ

釧路根室の7・8分区の4グループとしこの順番に出していくものです。メリットは、4年に1回は自分たちの分区からガバナー候補者を出すことで、輪番制ですから候補者がいないからと先送りが出来ず当然担当分区は責任を持って予定者選考を行わなければなりま

せん。会員やクラブが選考に今以上に関心を持つのではと期待しております。

私が指名委員長の時は輪番制で②グループからの選出することになっていました。かなり早い時期から候補者は北見地区より出ること何も障害ありませんから大丈夫ですと連絡があり、安心しておりました。その後しばらくして公募締め切り近くになり事情があり北見地区より選出できないとい連絡がありました。まさに青天のへきれきで慌てて、他のクラブをお願いをしました。がそう簡単にはいかず大変苦勞したのですが、これはその辞退した方にも特別な事情で止む無く辞退したことや、他クラブでも候補者選考は終わっているものと安心してたところに突然また新たに候補者を選ぶと言うことで大変苦勞され多様です。いろいろな事を考えてみますと候補者選出が出来なかった事態もしようがないことと受け止めました。ただ輪番制でガバナーを選出する制度なのでどうしても北見から選出という意識をもう少し強く持って欲しかったです。輪番制が始まる前まではガバナー候補者が見つかるまで2500地区全体で検討しなければならず、選考委員会はこの広大な2500地区を回って探すという大変な苦勞と時間が必要なことでまた一方多くのクラブはガバナー選考は自分たちにはあまり関係ないというある種の無関心が横行していました。これらを改善しなければ毎年々苦勞するという観点から関心を持ってもらうという考えからこのような輪番制になりました。昨年度の北見の例では、輪番制の趣旨からしたら②北見網走紋別がどうしてもこの地区から候補者を出そうと再度検討すべきと思いました。

もし仮に釧路クラブからどうしても選出しなければならないという事態が発生したなら、ガバナーの条件というのは会長を経験者だけです。から会長経験者は全員ガバナー予定者資格者なのです。最後は「資格者全員で、じゃんけんで決めよう」くらいの結論を出してでも是非選出する気持ちを強く持ってもらいたいと思います。歴史と伝統と持ち備えた釧路クラブです。難局に遭遇したら力を発揮し乗り越えていくのが釧路クラブに与えられた使命です。

ありがとうございました。